

2020年度 第68回 博修士会総会・学術講演会 (報告)

総会は、7月31日(土)13時から関西大学千里山キャンパスの第2学舎1号館5階A503教室で行われた。本年度もコロナ禍での開催のため、感染予防とソーシャル・ディスタンスを徹底した。当日、芝井敬司理事長、前田裕学長、山本秀樹副学長・研究推進部長、藤田高夫副学長・国際部長、田中義信校友会会長、小谷寛子女子秀麗会会長が来賓として出席された。

総会では、物故者に黙とうを捧げ、学歌を傾聴した後、来賓の芝井理事長、前田学長、田中校友会会長からご挨拶を頂戴した。その後、総会の議事に移り、会則に則って議長の北嶋会長、副議長の明神会長代理の下で、2020年度の事業報告と収支決算報告について審議・承認、「名簿特別勘定」の取り崩しについて議決し、そこからの収入を盛り込んだ2021年度一般会計予算について全会一致で決議した。

14時からは、学術講演会に移り、2020年度文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)を受賞された多川則男関西大学名誉教授から「生み出されるデータ量の爆発的増加とハードディスクの高密度大容量化について」と題して、講演していただいた。情報処理システムやHDD装置の概要から浮動ヘッド技術や磁気ディスク媒体のイノベーション等に関する独自の技術開発をわかりやすく説明していただいた。SSDとの相違を踏まえた議論も活発に行われ、日本の産業が有する部品の高品質と装置化の相克にも言及する内容だった。参加者一同、最近のIT関連技術の動向について、全体像を認識することができた。

懇親を深める会は、今年度も開催できなかった。1日も早いCOVID-19の収束を願いつつ、教育・研究、各位の業務に励んでいきたい。

(博修士会 広報部)



3年ぶりの全体式典開催 604名の新博修士の誕生、 811名の新入生を迎える

学位記授与式(3月22日)及び大学院入学式(4月2日)について、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各研究科に分散してリモート中継で実施していましたが、3年ぶりに全体での式典として開催いたしました。そして、604名の修了生と811名の新入生の方々を迎えることができました。

前田学長は、学位記授与式式辞でコロナ禍の2年間を振り返りながら、修了生に対して「社会に出てからも新規性探求の姿勢を持ち続けることが大切である。新しいことに挑戦し、失敗を恐れず、自分を信じて前に進むことが人生を謳歌するコツである」と述べられました。

(博修士会 広報部)



学位記授与式

事務局便り

博修士会への連絡をスマホやパソコンから手軽に行えるように、2次元バーコード(QR-Code)を作成し、学位記授与式と入学式に会報とともに配付いたしました。ご活用ください。

なお、連絡用2次元バーコードは正会員(修了生)用と院生学生用の2種類あります。



(修了生用) <http://u0u1.net/Xeky> (院生用) <http://urx.red/wskf>

お知らせ!

関西大学博修士会

検索



ホームページも見て下さい!

www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/

博修士会会報 2022年号

2022年7月22日 発行

発行人 北嶋 弘一 編集人 篠塚 義弘

発行所 関西大学博修士会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
関西大学校友会事務局気付